

令和5年度岡山県スポーツ推進委員協議会

第2回理事会 議事要旨

日 時 令和6年2月29日(木)

15:30～17:30

場 所 ピュアリティまきび 2階「白鳥」

出席者 11名出席

1 開 会

2 あいさつ

赤木岡山県スポーツ推進委員協議会会長が挨拶

3 議 題

1号議案

令和5年度事業報告(案)について

事務局説明(資料4～5ページ)

資料通り

→ 一同、同意

2号議案

令和5年度補正予算(案)について

事務局説明(資料6～7ページ)

【一般会計】

○収入

- ・雑収入の約26万円増額は、還付金が若干増額したことと、県研修会の参加費及び情報交換会費を計上しているため。

○支出

- ・事業費は、ほぼ例年通り。
- ・旅費及び会議費については、通常の参集での開催や理事会以外の会議数の増加により、支出が増額している。
- ・今後、第2回常任理事会及び理事会とリーダー養成講習会の派遣費の約15万円支出する。
- ・負担金は、特になし。
- ・予備費は、年度末に決定し、5月に報告する。
- ・繰越額は、今後、約15万円の支出見込みから、25～30万円程度となる見込み。
- ・全体的な支出額増額の要因については、会議数の増加に伴う旅費・会議費の増額や物価高の影響がある。

【特別会計】

○収入

- ・例年通り

○支出

- ・例年通り、県研修会負担金を支出

→ 一同、同意

3号議案

令和6年度事業計画（案）について

事務局説明（資料8ページ）

- ・常任理事会は、3回開催予定。
- ・常任理事会、理事会及び組織活性化部会については、会議室確保の関係で、すでに日程は決定している。
- ・中国地区関係は記載のとおりだが、来年度は理事会が通常の参集開催、女性委員会は書面開催となった。
- ・初任者研修会を県研修会の午前中に開催する。
(理事から)
- ・備北支部研修会を県研修会と兼ねるため、7月13日（土）～14日（日）へ変更してもらいたい。

→ 一同、同意

4号議案

令和6年度収支予算（案）について

事務局説明（会議資料9～10ページ）

【一般会計】

○収入

- ・令和5年度並み。
- ・令和6年度スポーツ推進委員数は、890人の予定。
- ・雑収入の約25万円増額は、県研修会費の参加費及び情報交換会費を計上しているため。
- ・繰越額は、会議費及び旅費の増額、物価高の影響で減額し、今後、25～30万円程度になる見込み。

○支出

- ・事業費については、令和5年度並みだが、会報印刷費の高騰や初任者研修会開催の準備・運営費を計上のため、6.5万円程度増額。
- ・管理費の旅費については、中国地区理事会が通常開催のため、10万円増額。
- ・そのほかの旅費は、令和5年度を参考に計上。
- ・女性委員会及び専門委員会分の旅費は、組織改編のため減額。
- ・全体的に、1.9万円の増額。
- ・会議費については、令和5年度を参考に計上。
- ・県研修会の参加費や情報交換会費を計上のため、25万円増額している。
- ・女性委員会及び専門委員会分の旅費は、組織改編のため減額。
- ・全体的に14.5万円増額しているが、県研修会の増加分のため、実際は減額し

ている。

- ・負担金は例年どおり。
- ・予備費については、今後、赤字になる可能性がある。

○今後の財政について

- ・収入が年々減少する中（H28 から約100万円減）、支出が増加（旅費・会議費・物価高）している。このままでは、一般財源は破綻する。

- ・対策として

①会議のコーヒ一等の提供の廃止

②会議資料等の郵送をやめ、県のHPには、スポーツ推進委員協議会の項目があるため、そこに会議資料や議事録等を掲載し、各自ダウンロードしてもらう。
（通信運搬費の削減）

なお、各市町村へのメール送付は、引き続き行う。

③来年度1年間を通して、可能な限りの経費を削減していく。

- ・会議での封筒配布の取りやめ
- ・支部への負担金の検討 など

※支部への負担金については、来年度の収支を見ながら、1年間かけて検討する。

【特別会計】

○収入

- ・例年通り。

○支出

- ・例年通り、県研修会負担金を支出。
- ・能登半島地震への義援金で10万円計上。（この後の議案で協議する。）
- ・県協議会の看板作成のため、5万円計上。これについては、令和7年度中国地区研修会開催に向け、県が所有する国旗、県旗の看板に合わせ、県協議会の看板を作成するものである。
- ・来年度は、合計25万円の支出を予定している。

→ 一同、同意

5号議案

令和6年度岡山県生涯スポーツ研究大会兼岡山県スポーツ推進委員研修会について

事務局説明（備北支部・資料11～15ページ）

- ・期日、内容等開催要項通り。
- ・講演の榎原さんについては快諾をいただいている。
- ・1日目アトラクションについて「にーみんな体操」は変更の予定。新見公立大学に「ダンスパフォーマンス2024」を追記する。
- ・宿泊について、別紙宿泊施設を参考に、市町村が直接申し込むことになる。
- ・宿泊リストについて、夕食はいらないので、夕食なしの値段に修正する。
- ・実技研修は、屋根付きの屋外である。スタッキングの会場については、検討中のため、屋内になった場合は、上履きが必要となる。決まり次第。要項へ記載する。

→ 一同、同意

6号議案

岡山県スポーツ推進委員協議会新組織について

事務局説明（会議資料16ページ）

- ・経緯について、令和4年度から専門委員会及び女性委員会において、在り方等について検討してきた。
- ・女性の活躍の場を確保した上で、女性委員会の発展的な解散が必要と感じた。
- ・両委員会において、新組織改編に向け協議した。
- ・新組織の名称は「組織活性化部会」とした。

（理事から）

- ・新組織の具体的な活動は何をするのか。

→ このあとにも説明するが、資料18ページの研究協議事項に記載の取組を行っていく。また、今後、新メンバーが決まり、部会の中で具体的な活動内容を検討していく。

- ・「委員会」ではなく、「部会」にした理由はあるのか。

→ 県協議会自体が委員会であり、主体となる組織であるため、その下部組織として活動するには、「部会」が適当と考えた。

→ 一同、同意

7号議案

岡山県スポーツ推進委員協議会規約（案）について

事務局説明（会議資料17～23ページ）

- ・新組織改編に伴い、県協議会規約・施行細則、新組織規約・施行細則について、改定等する必要がある。
- ・まずは、17ページは「組織活性化部会」の規約になる。これは、専門委員会の規約を参考に行っている。
- ・大きく変更した箇所は、委員会を部会にし、第2条の「目的」の活発化を活性化に変更した。
- ・第7条の2項に、「ただし、（中略）議決することができる。」と追記した。
- ・第3条について、組織活性化部会は、通常、常任理事会・理事会前に開催されることになるため、「理事会の議決を経て」を削除し、各支部の推薦と会長の委嘱をもって構成するに修正する。
- ・承認後、令和6年4月1日から施行する。
- ・18ページの「組織活性化部会」規約施行細則について、「委員」を「部員」へ修正していただきたい。
- ・構成部員について、第2条に「（前略）…県及び市町村協議会」のあとに、市町村によっては、「委員会」というところもあるので、「委員会」を追記してもらいたい。
- ・「構成部員」は、各支部から4名を推薦することとし、4名のうち2名以上は女

性とする。

- ・会長は4名推薦することができる。
- ・部長は1名、副部長は2名で構成し、その内2名は女性とした。
- ・第2条4項の「その内2名は女性とする。」を「2名以上」と言うように「以上」を追記し、「その内2名以上は女性とする。」の表記に修正していただきたい。
- ・承認後、令和6年4月1日から施行する。
- ・19ページからは、組織活性化部会の改編に伴い、県協議会規約及び施行細則についても改訂する必要が生じた。
- ・規約の第4条「事業」（3）にスポーツ推進委員の役割を鑑み、今まで記載がなかった「調整」を追記した。
- ・21ページの「委員会」を「部会」に修正していただきたい。
- ・第14条に「組織活性化部会」を置く。
- ・第15条の「本会は」を「本会に」に修正するとともに、「（以下「支部」という。）」を削除する。
- ・第16条の「（以下「評議員」という。）」を削除する。
- ・承認後、令和6年2月29日から改訂する。
- ・23ページからは、本協議会規約施行細則になり、第2条を表記のとおり修正する。
- ・第2条の4項は、理事の選任についてになる。（2）女性委員長及び（3）専門委員長を削除し、組織活性化部長及び副部長とするが、「及び」を「又は」に変更し、「組織活性化部長又は、副部長」に修正していただきたい。
- ・第5項は、副会長についてになる。現行の女性委員長を削除し、組織活性化部長又は、副部長の女性部員とする。
- ・第6項は常任理事についてになる。現行の専門委員長を削除し、組織活性化部長及び副部長とするが、4項と同様に「及び」を「又は」に変更し、「組織活性化部長又は、副部長」に修正していただきたい。
- ・承認後、令和6年2月29日から改訂する。

（理事から）

- ・23ページの組織活性化部長又は、副部長からの選任は1名を想定しているのであれば、1名と記載したほうが良いのではないかと。

→ 1名を追記する

- ・このたびの組織活性化部会は、女性2名以上の選任など、女性を優遇しすぎではないかと。

→ 年々女性の活躍が多くみられるようになってきた。研修会にも女性委員の参加が多い。しかし、理事会など、中央組織への参加がまだ少ないのが現状である。今回の改編を良い機会と捉え、積極的に女性委員が中央組織へ参加できるよう、意図的に今回の規約及び施行細則とさせていただいた。

→ 一同、同意

8号議案

能登半島地震義援金について

事務局説明（会議資料24～25ページ）

- ・全国連合から24ページのように被災地への義援金の依頼があった。
- ・県としては、H23の東日本大震災、H28の熊本地震の際にも義援金の支援を行っているため、今回も義援金を考えている。
- ・案としては、記載のとおりであり、県としては、案1及び案2のどちらかで考えている。
- ・案4のように、中国地区の各県で差が出ないように、中国地区会長同士が相談をしており、10万円が妥当と考える。
- ・支出先は、県協議会特別会計からと考えている。
- ・振込等については、県事務局から全国連合へ振り込み、来年度の定時総会において、全国連合から石川県会長へ手交することになっている。

（理事から）

- ・本理事会には慶弔に係る会費を徴収している。慶弔費から義援金を支出することはできないのか。また、現状、家族葬など葬儀が縮小されている中、慶弔費の活用があるのか。収支報告はしないのか。今後、慶弔費の運用について検討してはどうか。

→ 慶弔費からの義援金の支出は考えていない。（残高4.7万円程度）

収支報告は、毎年、年度初めの理事会で報告している。

慶弔費については、県事務局の管理ではなく、理事長管理となっているため、今後、理事長から在り方等について提案することになる。

→ 一同、同意

4 その他

（事務局説明）（1）～（3）を報告及び説明。

○岡山県スポーツ推進委員協議会会報（57号）について

- ・表彰者や各支部からの原稿をいただいた。今後、原稿を業者へ提出する。

○岡山県スポーツ推進委員協議会初任者研修会について（資料26～27ページ）

- ・先にも話題にしてきたが、来年度初任者研修会を開催する。
- ・開催日時は県研修会の午前中とする。
- ・日程等は記載のとおり。
- ・意見交換会の担当を「組織活性化部会」に修正していただく。
- ・申込については、県研修会の様式に初任研と弁当注文の欄を作って、市町村へ送付する。
- ・支部事務局は、各市町村へ連絡していただきたい。

（理事から）

- ・初任研当日の運営等は、組織活性化部会中心になるのか。備北支部は基本的に関与しなくてよいか。

→ 県及び組織活性化部会が中心となるが、できれば、備北支部の応援をいただきたい。（今回は、赤磐市の委員の協力をいただいた。）

○各種大会予定について（２８ページ）

- ・来年度については、記載のとおり。
- ・中国地区研修会における発表担当支部を令和１０年度は美作支部に、令和１２年度は備前支部に変更している。
- ・国民体育大会を国民スポーツ大会へ名称を修正していただきたい。

○中国地区スポーツ推進委員研修会実践発表県について（２９ページ）

- ・先の各種大会予定から、美作支部と備前支部を記載のとおり変更している。

○役員改選について（３０ページ）

- ・令和６・７年度の役員について、来年度が改選期である。
- ・各支部からの役員選任名簿の様式になる。
- ・各支部においては、できるだけ早く支部の役員を県事務局に連絡してもらいたい。
また、備北支部の事務局交代に伴い、支部会長の交代が決まっているように、現時点で役員の交代が決まっている場合は、早急に連絡していただきたい。
- ・役員については、会議に出席していただける委員の選任を優先的に考えてもらいたい。

→ 一同、同意

５ 閉 会

事務局

これをもって理事会を終了する。